

記者資料提供（2024年12月3日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp

KIITO:

3時間で映画をつくる！ワークショップ 「ご近所映画クラブ@KIITO」開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりワークショップを開催いたします。ご取材および情報掲載のご協力のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、神戸市立三宮図書館との連携事業として「Assemble-変容する「場」の可能性を考えるトークセッション」を開催しています。第4回は、KIITOを舞台に映画づくりを体験するワークショップ「（だいたい）3時間で映画をつくる！ご近所映画クラブ」を開催します。

ワークショップでは、「企画する」「計画をたてる」「撮影をする」という3段階を経て、グループごとに相談しながら3時間という短い時間で映画をつくります。完成した作品は、終了後に鑑賞会を行います。映画に関する専門的な知識や技術がなくてもご参加いただけます。作品を作り出す楽しさ、映画制作の魅力を味わってみませんか？

この機会にぜひご参加ください。



ご近所映画クラブ：フランスの映像作家、ミシェル・ゴンドリー氏が開発した「映像ワークショップ」を元に構成されている同氏公認のワークショップ。少数のメンバーが手作りで、スピーディーに一本の映画をつくり、小さなコミュニティで楽しむという映像メディアのDIYを体験します。「編集せず」「一発勝負」でシナリオに沿って勢いよく撮影していくことでより表情豊かな映画が完成します。

事業名：Assemble-変容する「場」の可能性を考えるワークショップ第4回

「（だいたい）3時間で映画をつくる！ご近所映画クラブ」

日時：2025年1月11日（土）11:00～16:00（途中休憩あり）

スケジュール：オリエンテーション → シナリオ作り → 撮影→鑑賞会

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 3階 303

参加費：無料 定員：20名程度

対象：10歳以上の児童から大人まで。1人でも友達や家族やご近所同士での参加も可能です。

※児童が参加する場合は、同伴で参加いただけます。※3名以上でご参加の場合はグループ分かれる場合がございます。

講師：久保田テツ（NPO remo [記録と表現とメディアのための組織]）

持ち物：映画に使えるようなモノ、服、小道具など各自、自由にご持参ください。ただし、話し合いで物語を決めていくため使用しない場合もあります。*撮影機材はすべて主催者で準備します。

お申込み：申し込みフォーム（<https://kiito.jp/schedule/event/articles/71598/>）に必要事項をご入力の上、お申込みください。

申込締め切り：12月27日（金）23:59まで

【講師プロフィール】



久保田テツ

京都生まれ。NPO remo [特定非営利活動法人 記録と表現とメディアのための組織] 代表理事。大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD) 特任准教授、大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻を経て、現在、大阪大学 CO デザインセンター客員准教授。主にメディアとコミュニケーションに関する教育研究、映像ドキュメンテーション実践、映像をめぐる場づくりに取り組む。



NPO remo [記録と表現とメディアのための組織]

メディアを通じて「知る」「表現する」「話し合う」3つの視点で活動する非営利組織。メディアアートなどの表現活動を促すほか、文房具としての映像の普及、映像を囲む新しい場づくりなどを展開しています。

【神戸市立三宮図書館×KIITO 連携事業について】

デザイン・クリエイティブセンター神戸では、神戸市三宮図書館とともに、それぞれの機能やリソースを活用すべく連携事業に取り組んでいます。「出会い」「交流」を生む図書館、「創造 (+クリエイティブ)」を活動キーワードに掲げる KIITO。両施設が1つの施設に同居することは、それぞれが持つ機能を融合させることができ、また、これまで以上に多様性を包括的に受け入れる「場」としての在り方を考える機会です。連携プログラムでは、ゲストを迎えたトークセッションのほか、様々なプログラムを開催していきます。

【Assemble アセンブル - 拡張する「場」の可能性を考えるトークセッションについて】

誰もが活用できる開かれた公共空間としての「場」の在り方や可能性を考えるトークシリーズです。本を借り、読むことのできる場という従来のイメージにとどまらず、新たな役割や機能を持った図書館が増えています。わたしたちを取り巻く価値観の多様化、一人ひとりのライフスタイルの変化など、複雑化する社会において、図書館・文化施設の役割や機能も変化を求められています。多様な生き方、多様な人々。誰もが活用できる図書館とはどのようなものなのでしょうか。KIITOに移転する図書館を事例として、ゲストと共に議論を交えながら、図書館・文化施設などの公共空間の持つ意味や価値、「出会いの場」「交流の場」を創出する意義、創造的な「場」としての役割について考えます。



第1回「豊かな出会いを生む、図書館のかたち」

ゲスト：幅 允孝 (有限会社 BACH 代表、ブックディレクター)、浅野隆夫 (札幌市中央図書館 利用サービス課長)



第2回「地域のつながりと、生活を豊かにする場としての図書館」

ゲスト：久野和子 (立命館大学文学部 教授)



第3回「いしいしんじのその場小説と蓄音機音楽会」

ゲスト：いしいしんじ (小説家)